



ルート リストの設定

ルート リストは、優先順位が指定されている 1 組のルート グループに関連付けられます。また、ルート リストは、1 つ以上のルート パターンに関連付けられ、そのルート グループがアクセスされる順位を決定します。この順位は、発信コールに使用可能なデバイスを検索するときの進行を制御します。

ルート リストには、ルート グループだけを入れることができます。

各ルート リストには、少なくとも 1 つのルート グループを入れる必要があります。各ルート グループには、少なくとも 1 つのデバイス、たとえば、使用可能なゲートウェイが含まれます。Cisco Unified Communications Manager は、デバイス タイプに基づいて、各ルート グループ内で、一部またはすべてのポートをリソースとして選択できます。一部のデバイス（たとえば、デジタルアクセス）では、すべてのポートの選択しかできません。

ルート グループは、任意の数のルート リストに追加できます。

ルート リストの追加または削除、リスト内のルート グループの追加、削除、または順序の変更をするには、次のトピックを参照してください。

- [ルート リストの検索 \(P.37-2\)](#)
- [ルート リストの追加 \(P.37-3\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.37-5\)](#)
- [ルート リストからのルート グループの削除 \(P.37-7\)](#)
- [ルート リスト内のルート グループの順位の変更 \(P.37-8\)](#)
- [ルート リストの削除 \(P.37-9\)](#)

ルートリストの検索

ネットワーク内にはいくつかのルートリストが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定のルートリストを見つけることができます。ルートリストを見つけるには、次の手順を使用します。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ルートリストの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルートリストの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。

[ルートリストの検索と一覧表示 (Find and List Route Lists)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.37-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートリストの追加

ルートリストを追加する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3** [名前] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートリスト名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

ルートリストには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationCalltype の形式が、内容を簡潔に表し、ルートリストをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetro」は、Dallas の Cisco オフィスからの、LATA (Local Access Transport Area) 間の無料コール用のルートリストを特定します。

[説明] フィールドに説明を追加します。

- ステップ 4** ドロップダウンリストボックスで、Cisco Unified Communications Manager グループを選択します。



(注) ルートリストは、グループで最初の Cisco Unified Communications Manager (そのグループのプライマリ Cisco Unified Communications Manager) に登録されます。



(注) Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていない Cisco Unified Communications Manager グループを選択すると、次の警告が表示されます。

警告: 選択された Cisco Unified Communications Manager グループに Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていません。冗長性確保のための制御プロセスのため、2 つ以上の Cisco Unified Communications Manager を含む Cisco Unified Communications Manager グループを選択してください。

ステップ 5 [保存] をクリックして、このルートリストを追加します。



(注) コールを受信させるため、このルートリストにルートグループを少なくとも 1 つ追加する必要があることを示すポップアップメッセージが表示されます。

[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウに、新しく追加されたルートリストが表示されます。

ステップ 6 新しいルートリストの [このルートリストを有効にする (Enable this Route List)] チェックボックスは、デフォルトでオンになっています。

このルートリストを使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフにします。進行中のコールは影響を受けないが、このルートリストが追加のコールを受け付けなくなることを示す、ポップアップウィンドウが表示されます。

ステップ 7 新しいルートリストに少なくとも 1 つのルートグループを追加します。

このリストにルートグループを追加するには、[ルートグループを追加] をクリックし、[P.37-5 の「ルートリストへのルートグループの追加」](#)のステップ 4 ～ステップ 8 を実行します。



(注) 着信側と発信側の変換情報を参照するには、このルートリストに属しているルートグループの名前をクリックします。ルートグループの名前は、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの一番下にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストボックスに表示されています。この操作によって、選択したルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

追加情報

[P.37-10 の「関連項目」](#)を参照してください。

ルートリストへのルートグループの追加

新規のルートリストまたは既存のルートリストに、ルートグループを追加することができます。ルートグループは、1 つ以上のルートリストに組み込むことができます。既存のルートリストにルートグループを追加する手順は、次のとおりです。



(注) QSIG プロトコルを使用する MGCP ゲートウェイを含むルートグループ (QSIG ルートグループ) と、H.323 プロトコルを使用するゲートウェイを含むルートグループ (H.323 ルートグループ) を、同じルートリストに追加することはできません。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートグループとルートリスト」を参照してください。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つのルートグループを作成し、ルートリストを追加しておく必要があります。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。

ステップ 2 ルートグループを追加する先のルートリストを特定します。P.37-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。

ステップ 3 [ルートグループの追加] をクリックして、ルートグループを追加します。

[ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [ルートグループ (Route Group)] ドロップダウン リスト ボックスから、ルートリストに追加するルートグループを選択します。



(注) ルートリストに QSIG ルートグループが含まれている場合、H.323 ルートグループはドロップダウン リストボックスに表示されません。ルートグループに H.323 ルートグループが含まれている場合、QSIG ルートグループはドロップダウン リストボックスに表示されません。

ステップ 5 このルートグループを介してルーティングされるコールについて、発信側の番号を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、発信側変換をセットアップします。



(注) 発信側変換の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「発信側および着信側の変換」を参照してください。

ステップ 6 このルートグループを介してルーティングされるコールについて、ダイヤルされる数字を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、着信側変換をセットアップします。



(注) 着信側変換の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「着信側番号の変換設定値」を参照してください。

ステップ 7 [保存] をクリックして、ルートグループを追加します。

ウィンドウの下部にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストに、ルートグループの詳細情報が表示されます。

ステップ 8 このリストにルートグループをさらに追加するには、[ルートグループの追加] をクリックし、[ステップ 3](#)～[ステップ 7](#)を実行します。

ステップ 9 ルートリストへのルートグループの追加が終了したら、[保存] をクリックします。

ステップ 10 [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウが表示されたら、[リセット] をクリックします。

追加情報

[P.37-10](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートリストからのルートグループの削除

新規のルートリストまたは既存のルートリストから、ルートグループを削除することができます。既存のルートリストからルートグループを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** メニューバーから [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルートグループが入っているルートリストを特定します。P.37-2 の「[ルートリストの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルートグループ名を選択します。



(注) このリストから複数のルートグループを選択するには、**Shift** キーを押し、目的のルートグループをクリックしてください。

- ステップ 4** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストボックスの下にある下矢印をクリックして、選択したルートグループを [削除されたグループ (Removed Groups)] リストに移動します。
- ステップ 5** ルートグループを削除するには、[保存] をクリックします。ページがリフレッシュされたときに、そのルートグループがルートリストから削除されています。
- ステップ 6** [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの [リセット] をクリックします。

追加情報

P.37-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートリスト内のルートグループの順位の変更

Cisco Unified Communications Manager は、ルートリストに表示されている順に、ルートグループにアクセスします。ルートグループのアクセス順位を変更する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
 - ステップ 2** ルートグループの順位を変更するルートリストを特定します。P.37-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルートグループを選択します。
 - ステップ 4** リスト内でルートグループを上下に移動させるには、ルートグループを選択して、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印をクリックします。
 - ステップ 5** [保存] をクリックします。



-
- (注)** 着信側と発信側の変換情報については、左側にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストのルートグループアイコンまたはルートグループ名をクリックしてください。この操作により、対応するルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。
-

- ステップ 6** [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウの [リセット] をクリックします。
-

追加情報

P.37-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートリストの削除

Cisco Unified Communications Manager は、ルートリストをルートパターンに関連付けます。ルートリストがルートパターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。ルートリストを使用しているルートパターンを検索するには、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの [依存関係レコード] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムに対して使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#)を参照してください。



ヒント

ルートグループとルートパターンを削除するには、まずルートパターンを削除し、次にルートリストを削除して、最後にルートグループを削除します。

ルートリストを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルートリストを特定します。[P.37-2 の「ルートリストの検索」](#)を参照してください。
- ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。

ルートリストを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** ルートリストを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。



注意

ルートリストが 1 つ以上のルートパターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。

追加情報

[P.37-10 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [ルートリストの検索 \(P.37-2\)](#)
- [ルートリストの追加 \(P.37-3\)](#)
- [ルートリストへのルートグループの追加 \(P.37-5\)](#)
- [ルートリストからのルートグループの削除 \(P.37-7\)](#)
- [ルートリスト内のルートグループの順位の変更 \(P.37-8\)](#)
- [ルートリストの削除 \(P.37-9\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンスとルートリストの連動について」